

2015 日本司法・共生社会学会伊勢大会（11 月 14 日）

大会テーマ「発達障害の世界～どう育むか」

1. 企画趣旨

私たちは発達障害のことをどこまでわかっているのだろうか。いじめ、ひきこもり、虐待、生活困窮、触法……。こうした社会問題の背景に発達障害がからんでいることは多い。何が発達障害の人を生きにくくさせているかを考えることは、私たちが生きているこの社会について知ることでもある。

日本司法・共生社会学会（The Protection and Advocacy society of Japan）伊勢大会は、司法・医療・教育・福祉の各分野から複眼的に「発達障害の世界」を考えます。また、各地で取り組まれている障害者の理解啓発、権利擁護やトラブル・シューター活動、会員の研究活動等を発表し合い交流する場にいたします。なお、本大会は伊勢市との共催で行われます。今年の秋は伊勢でお会いしましょう！

2. 開催期日・会場

会期：2015 年 11 月 14 日（土） 10 時半～17 時

会場：三重県伊勢市 北館いせシティプラザ多目的ホール http://skc.e-ise.net/web/city_plaza.html

3. 大会の概要

■10:00～ 受け付け開始

■10:30～11:30 I 挨拶と講演 改めて発達障害とはなにか

会長・福島大学大学院教授 内山登紀夫氏

■11:30～12:30 II 対談 子どもの心と行動～共生社会の実現における学校の役割～

伊勢市教育長 宮崎吉博氏 × 福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室教授 榎屋二郎氏

もとより学校は子ども達を守り育む大切な役割を担っているが、医療や福祉の資源が少ない地域にとっては障がを抱える子ども達を守り育む大きな砦とも言える。そして障がいの有無に関わらない共生社会実現のためには学校の役割は非常に大きい。しかし現在、学校現場では問題行動や不適応を呈する子ども達が多い一方、教職員の業務は増加の一途を辿っており、教職員の対応困難や燃え尽きが問題ともなっている。

限られた社会資源の中で学校や教職員を支え、学校でよりよい支援を障がいの有無に関わらず子ども達に提供し共生社会実現の礎を作るには、社会がどう動くべきか関わるべきかを対談とフロアとのディスカッションを通じて考えたい。

■13:30～14:30 III 研究発表（ポスター発表）

各地で取り組まれている障害者の理解啓発、権利擁護やトラブル・シューター活動、会員の研究活動等の発表

■15:00～17:00 IV シンポジウム 発達障害の世界～どう育むか

伊勢市長 鈴木健一氏

津市消防本部消防長 山口精彦氏

弁護士（大阪） 辻川圭乃氏

弁護士（東京） 浦崎寛泰氏

司会：ジャーナリスト 野澤和弘氏（コーディネータ）

知的障害・発達障害の人が安心して地域で暮らすためには、警察に彼らの特性をよく理解してもらわねばならない。「警察プロジェクト」を始めて15年が経つ。当時、警察庁幹部として協力してくれた山口精彦さんは現在、三重県津市消防本部の消防長を務めている。警察プロジェクト生みの親とも言える山口さんをゲストに、鈴木健一伊勢市長もまじえて、改めて地域の安全と共生社会について考える。

4. 研究発表・大会参加の申込要領

1. ポスター発表（研究発表・事例発表・活動発表）申込

今大会の発表は、ポスター発表のみとなります。セッション時間中ポスター原稿を掲示しておき、各発表者が質問者と自由に質疑・討論するものです。当日会場内に、掲示版を用意しますので、概ねB0版（縦置き）大のポスターをお持ち

ちください。(A4用紙なら横置きで「横4×縦12」=24枚を張り合わせると良い。ポスターは手書きでも結構です。)

発表者は、ポスターの近くに待機して、発表時間中、パネルに掲示すると共に参加者との研究交流(説明、質疑・応答等)を行います。なお、申込時には、発表概要を、原稿投稿要領に基づきまとめ投稿してください。

ポスター発表は、次の3部門に分けて募集します。内容については、本学会の目的に沿った他学会等で公表していないオリジナルなものとし、人権の尊重・法令遵守・利益相反などに配慮してください。

A. 研究発表

学術的研究の成果を発表してください。発表原稿を、研究目的・方法・結果・考察の4項目以上で構成してください。

B. 事例発表

支援事例などを発表してください。発表原稿を、目的・対象・経過の3項目以上で構成してください。

C. 活動発表

各地のトラブル・シューター活動や実践を発表してください。発表原稿が、目的・活動内容・経過の3項目以上で構成してください。

*それぞれ他に、結果・考察・今後の課題・結論・文献などを随意付け加えて結構です。(定められた字数の範囲で)

①発表資格

● 筆頭発表者は、**2015年10月19日現在**で会員申し込みをした方に限ります。

連名発表者は、非会員でも問題ありません。

②申込締切

2015年10月19日(月) 15:00 (時間厳守)

③申込手続き

筆頭発表者は、上記締切りまでに大会参加申込みを行った上で、発表概要を期日(2015年10月19日(月))までに投稿してください。

● なお、発表概要投稿日と大会開催日が接近しましたので、概要とポスター両方を作成するのが煩雑だという方は、ポスターの縮刷版(A4版)を投稿されても結構です。投稿原稿は、そのまま大会紀要として印刷され、参加者に配布されますので、必ずA4サイズ1頁(上下20mm、左右16mmの余白)の大きさをPDFファイル形式かWord形式で保存したデータを添付して投稿してください。

2. 大会参加申込 (発表しない方は、定員に達するまで申し込みます)

①所属と名前、②住所、③mail、あるいはFAX、④正会員あるいは非会員、⑤発表の有無を記載したE-mailまたは申込用紙によるFaxで申込みください。

学会ホームページ http://www.pandasj.com/soukai.html#ise_taikai

大会Facebook ページ <https://www.facebook.com/pandaise1114> も参考にしてください。

申込み先; 日本司法・共生社会学会事務局 東京都千代田区飯田橋2-7-1 三政ビル2階

FAX 03-6800-3296 E-Mail info.gakkai.panda@gmail.com

5. 参加費 無料